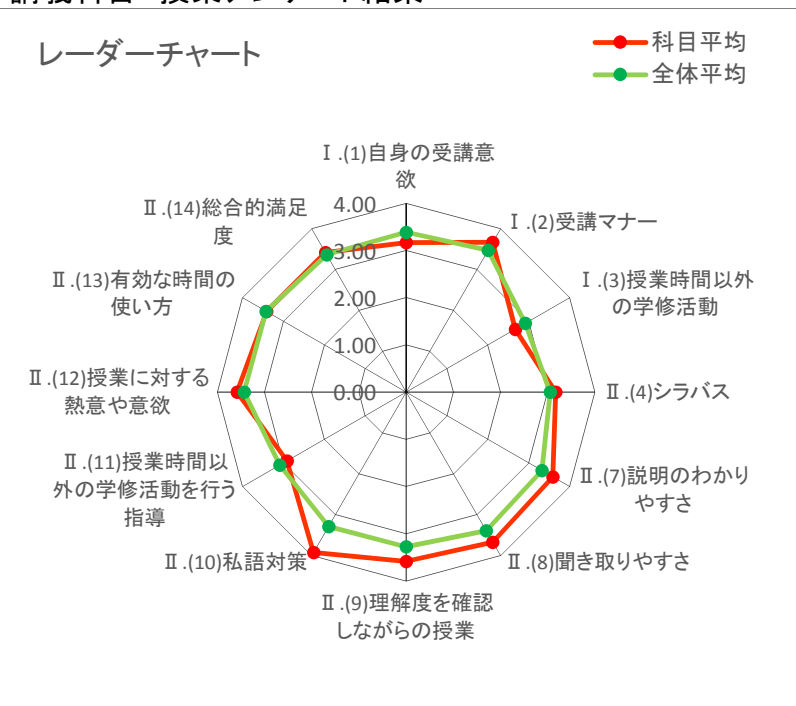
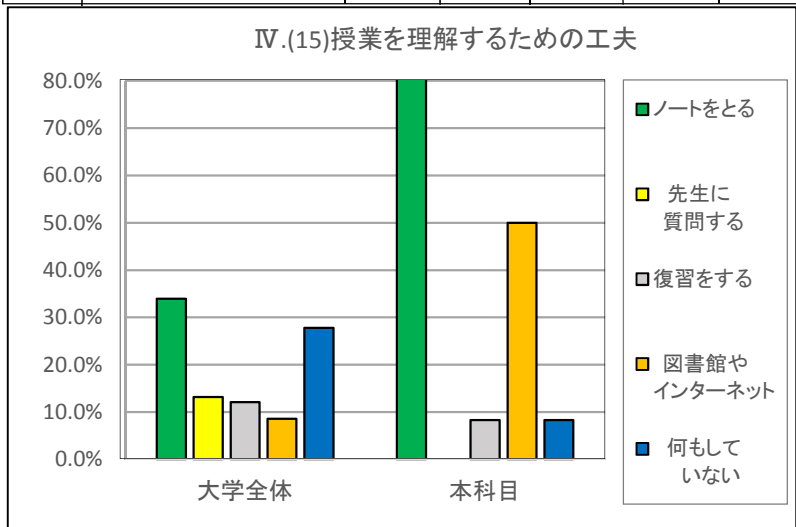


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2.(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	83.3%	0.0%	8.3%	50.0%	8.3%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.17	3.39
	I.(2)	3.67	3.47
	I.(3)	2.67	2.91
受講内容・方法	II.(4)	3.17	3.05
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.58	3.32
	II.(8)	3.67	3.39
	II.(9)	3.58	3.27
	II.(10)	3.92	3.28
	II.(11)	2.92	3.09
	II.(12)	3.58	3.43
	II.(13)	3.42	3.43
満足度	II.(14)	3.42	3.36

授業年度	2014年度 後期
時間割番号	24205
科目名	共生と日本社会
教員名	

①授業計画の達成度について

設問4からシラバスに示された授業計画と実際の授業運営の関係が読み取れる。他の科目に比較すればシラバスに沿って授業がなされたという評価であるが、担当者としては今年初めて担当した新設科目であり、暗中模索しながらの講義であったので、この評価はやや意外であった。ただ最初の授業でシラバスを読んだかどうか確かめたところ、ほとんどの学生が読んでいないということであったので、学生がどのような基準で回答したのか少々疑問である。難易度については設問5, 6から読み取るところ、他の授業に比較すれば難しくも易しくもないという評価である。学生自身が考えることを重視した授業であったので、受講生の反応を見ながら調整していったが、結果的にはうまくいったということだろう。

②授業の進め方について

設問7~9については授業の進め方についての技術的な調査であろう。これらは基本的な事項であり、4点満点中3点台後半の評価を得られたのは当然とはいえ嬉しく思う。私語対策がほぼ満点であるが、これは担当者の能力というよりは受講生の質が高かったからであろう。本講義は看護師の資格と直接の関係はないため、満足度が低くなるのではないかと心配したが、全体平均を上回ったことは、本講義の趣旨である共生の理念が学生に届いたということかもしれない。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

本講義は1年目の試行錯誤の積み重ねであった。来年度以降は本学の理念である共生を担う講義としてより充実した内容にしていきたい。授業時間外の予復習に対する指導が少ないことが設問3からは読み取れるが、看護師を目指す学生たちは、ほかに多くの時間外の課題を与えられていることを鑑みて本講義においては講義時間内に集中して考えるという態度で授業を運営していきたいと考えている。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.17	3.26
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.48	3.28
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.42	3.36
III.(14)		